No.48

協会だより

平成 30 年 3 月号

一般社団法人高知県木材協会

県立林業学校卒業式

県立林業学校 3 期生の卒業式が挙行されました。今期の卒業生は 20 名、そのうち 12 名は林業関係企業への就職、8 名は今春から開校する林業大学校の専攻課程へと進学する予定です。「林業・木材産業の振興なくして県勢の浮揚なし」という知事の力強い言葉とともに若者達は使命を帯びて巣立っていきました。

挙行日：平成 30 年 3 月 21 日(春分の日)

場所：香美市土佐山田町大平
県立林業大学校ホール

WOOD コレクション 2018 モクコレ

開催日：平成 30 年 1 月 30 日(火)　31 日(水)
場所：東京ビッグサイト東 7・8 ホール
入場者数：2 日間で約 4,000 人

高知県出展者：土佐材流通促進協議会・
高知県木製品工業連合協同組合・
高知県林業活性化推進協議会

東京都主催の木材イベントに参加しました。今年で 3 回目の開催ということで、まだ集客には少し物足りなさも感じましたが、目的を「木材の活用」に絞り全国規模で開催されるイベントとしては唯一の催しです。各県が展示の工夫を凝らしそれぞれの県産材をアピールしていました。
高知県も森林県として他県に見劣りしない展示ができたと思います。来年度以降も継続して出展していく予定です。

合法木材供給事業者研修（兼・クリーンウッド法説明会）

今年度は、3 年間に 1 回は受講を義務づけられている合法木材供給事業者研修の年にあたります。高知県内の合法木材認定団体(高知県素材生産業協同組合連合会・高知県森林組合連合会・高知県木材協会)3 団体が共同で研修会を開催しました。

四万十市会場と高知市会場で 2 日間に亘り開催され、同時に全木連から加藤氏をお招きし「クリーンウッド法に関しての現状」の説明をして頂きました。

終了後、参加者全員に各団体より受講証明書が交付されました。

四万十市会場
開催日：平成 30 年 2 月 7 日(水)
場所：中村地区建設会館
研修参加者：59 人

高知市会場
開催日：平成 30 年 2 月 8 日(木)
場所：高知市福祉交流プラザ
研修参加者：122 人

素生協西村専務による合法講習(四万十会場)

全木連加藤氏によるクリーンウッド法の説明
(高知市会場)

高知県地場産業大賞表彰式

挙行日：平成 30 年 2 月 13 日(火)
場所：ザ クラウンパレス新阪急高知

平成 29 年度の高知県地場産業大賞において、株式会社土佐龍の「四万十ひのき極め“一枚板”まな板」が高知県地場産業大賞奨励賞を受賞しました。その表彰式が華やかに挙行されました。

木材業界で表彰されるのは、平成 27 年の四万十町森林組合大正集成材工場に続き 2 年ぶりのことです。

この商品の販売先は 99%が県外・海外ということもあり、高知県の地産外商活動に大きく貢献していることが評価されました。池社長、おめでとうございます。

第５回ＣＬＴ建築推進フォーラム in kochi

開催日：平成 30 年 2 月 15 日(木)
場所：ちより街テラス　3F　　参加者：約 60 人

CLT 建築に係わった 4 人の建築家たちが自身の作品等の事例を紹介しながら今後の CLT 建築をどう普及させるか、今後どういう方向に進むのかの考えをそれぞれ披露しました。

これまでの高知県内における CLT 建築事例は、木造軸組みとのコラボや RC との混構造など、設計士によってそれぞれ違った使われ方をされており、「そろそろ標準形を模索してみては」と提案する先生もおいでました。

ＣＬＴ建築推進協議会幹事会

開催日：平成 30 年 2 月 16 日(金)
場所：ちより街テラス　3F 会議室
参加者：13 人

高知県が CLT 先進県と言えるのは、推進エンジンが高知県庁内にあり、事業を絶えず推し進めていけるからです。県内にはすでに 10 の CLT 建築事例があり、さらに 3 件が建築中、1 件が設計中の段階です。

国の森林環境税（仮称）等及び新たな森林管理システムの説明会

開催日：平成 30 年 2 月 14 日(水)
場所：高知会館　2F
参加者：約 200 人

平成 30 年度税制改正大綱により森林環境税が導入されます。この税の説明会が開催されました。

国の森林環境税(仮称) とは・・・税の徴収は平成 36 年度(西暦 2026 年)から課税が始まります。
国内に住所を有する個人に対して年額 1,000 円課税されます。
市町村において個人住民税と合わせて徴収されます。

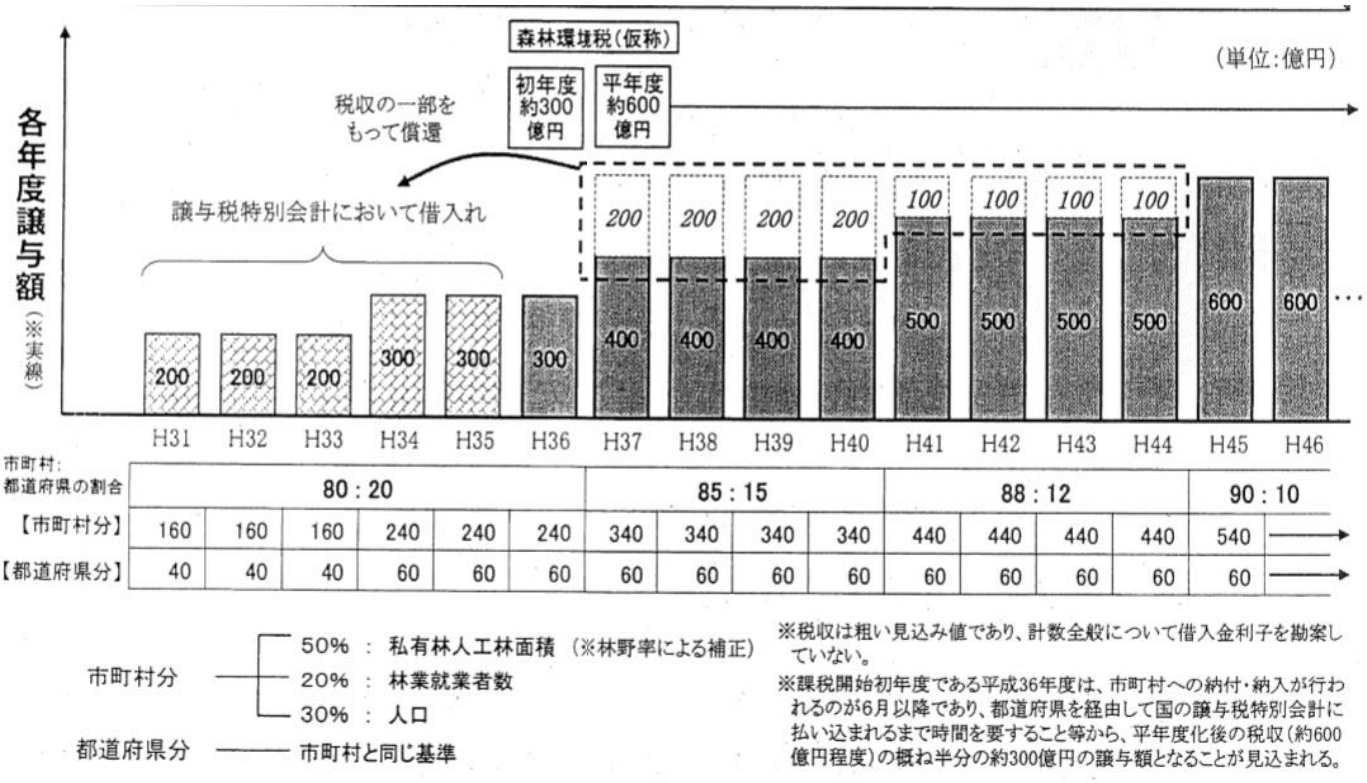
森林環境譲与税(仮称)とは・・・県市町村への税の交付が平成 31 年度から 5 年前倒しで始まります。

交付される額は

平成 31 年度から平成 33 年度まで	200 億円
平成 34 年度及び平成 35 年度	300 億円

交付される割合は

平成 31 年度～平成 36 年度	市町村 80%　県 20%
平成 37 年度～平成 40 年度	市町村 85%　県 15%
平成 41 年度～平成 44 年度	市町村 88%　県 12%



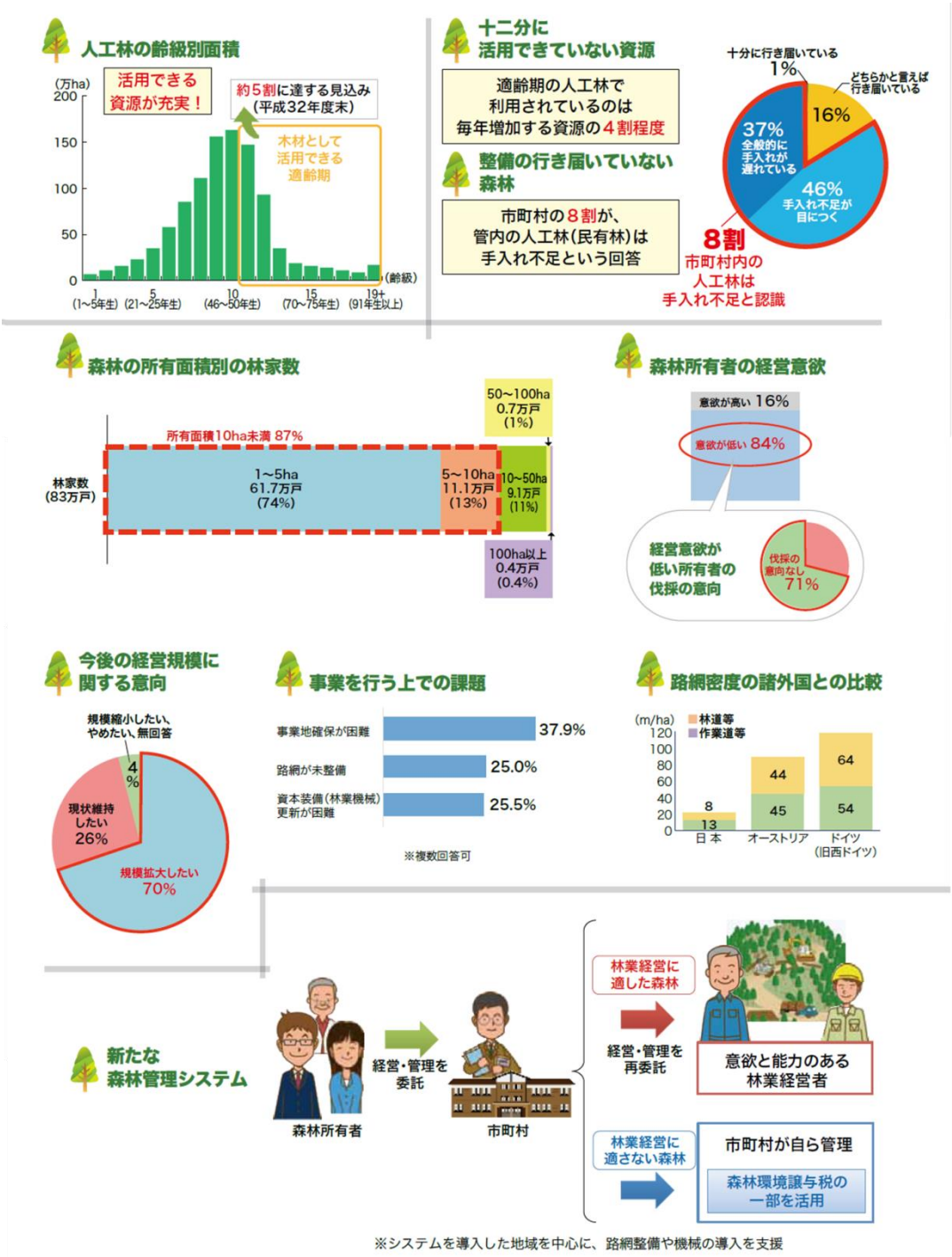
新たな森林管理システムとは

① 森林所有者は、自ら所有する森林について、適切な経営や管理を行う責務があるということを明確化した上で、

② 森林所有者が自ら管理できない場合には、所有する森林を市町村に預けていただき、

③ 市町村は、預かった森林を、意欲と能力のある林業経営に繋ぎ、林業経営の集積・集約化を進めることとしています。

④ 一方、自然的条件が悪く、林業経営に適さない森林等については、市町村が管理を行うこととしています。なお、市町村が公的管理を行う費用については、創設が決まった森林環境譲与税(仮称)の一部を活用することとしています。



林野 2018 年 1 月号より転写

外務省飯倉公館　高知県レセプション

開催日：平成 30 年 2 月 19 日(月)
場所：東京都港区麻布台
　　外務省飯倉公館
来客：約 300 人

　外務省と高知県が主催する観光・物産レセプションに木材協会も出展できる機会を得ました。各国大使が集まる会場で高知県産木製品のクオリティの高さをアピールできました。

木材普及推進協会　先進企業視察研修

(株)サイプレス・スナダヤ新工場

木材普及推進協会では、毎年バスをチャーターして県外の木材関連施設を視察しています。今年度は、愛媛県の(株)サイプレス・スナダヤと八幡浜官材(協)の 2 ヶ所の工場を訪問して研修してきました。

平成 30 年 3 月 2 日(金)
(株)サイプレス・スナダヤ
参加：28 人

平成 30 年 3 月 3 日(土)
八幡浜官材(協)
参加：25 人

サイプレスの砂田社長の説明講演

八幡浜官材の製品視察

佐川町ウッドスタート宣言

開催日：平成 30 年 3 月 3 日(土) ・4 日(日)
場所：佐川町健康福祉センターかわせみ

木の玉プール

魚梁瀬杉元玉標本(木採りカット)

ウッドスタートとは地域材を活用した子育て・子育ち環境を整備し、子どもをはじめとするすべての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らすことができるようにしていく取組です。

東京おもちゃ美術館と自治体が「ウッドスタート宣言」を交わすことにより、木育キャラバン(移動型おもちゃ美術館)を招くことができます。高知県では平成 28 年 9 月の越知町に続き 2 例目となるウッドスタート宣言を、今回は佐川町が行いました。

木製玩具とともに木育インストラクターが佐川町健康福祉センターに来て木育イベントが開催されました。高知県木材協会からも木の玉プール・木のおもちゃ・森のかけら・魚梁瀬杉元玉などの展示品を提供し協力しました。

また、4 日の日曜日には小学生を対象にした「森の検定」も実施され、木材協会元専務の松岡氏が森の博士として久々の登場です。

事業戦略普及推進セミナー

開催日：平成 30 年 3 月 5 日(月)
場所：ちより街テラス　3F　　参加者：46 人

売上高は伸びずとも資金力の改善が事業の安定化をもたらす。世の中には黒字でも倒産していく会社の例が沢山あります。実際に倒産企業の約半数は黒字だったということです。がむしゃらに働いても経営環境が良くならない社長さんは、一度経営コンサルタントによるプロのアドバイスを受け入れてみてはどうでしょうか。

昨年 7 月に開催された「事業戦略普及啓発セミナー」の後、NBC コンサルタント(株)の経営コンサルを県内製材業の 2 社が受け入れました。その経過報告なども交えて 2 回目の経営セミナーが開催されました。

高知県木材産業振興課では現在継続中の 2 社に加え、来年度新たに 3 社がコンサルを受け入れられることになりました。

A 社の社長さん

B 社の社長さん

土佐材流通促進協議会

①産地商談会事業　第8回優良土佐材見本市意見交換会

開催日：平成30年2月21日(火)
場所：高知市
　　サウスブリーズホテル
参加者：48人

県内外の買い方の皆様をお招きし、土佐材に対する率直な意見や要望をお聴きする会となりました。製品の乾燥、加工の精度、安定供給などに関する貴重な意見は今後の製品作りにきっと生かされることでしょう。

② 展示会事業　第8回優良土佐材見本市(県内3市場合同市)

開催日：平成30年2月22日(水)
場所：(協)高幡木材センター
来客数：買い方約70人、来場者約100人
土佐材の販売量：734㎥
　出材量の約85%
販売金額：約5,200万円

③ 高知県産材輸出促進事業　韓国　KOREA　BUILD2018

JETRO(日本貿易振興機構)が出展する韓国の建築建材展示会に土佐材流通促進協議会として参加しました。来場者は4日間で約15万人と多く、とくに桧製品は韓国で人気が高く盛況でした。

開催日：平成30年2月22日(水)
～25日(日)
場所：韓国KINTEX
高知県参加者：
池川木材工業(有)、
丸和林産(株)、
(株)吾川森林、
(株)なかよしライブラリー

④ 消費地商談会事業　「土佐の自然素材で家づくり」in山口　商談会

開催日：平成30年3月8日(木)
場所：ゆ~あいプラザ山口県社会福祉会館
来客数：山口県内の8社16人
参加会員：椿原町森林組合・
(協)高知木材センター・(株)吾川森林・
(協)ドライウッド土佐会・
田中石灰工業(株)・(株)クロスロード・
高知県木材商業(協)高知プレカット

⑤ 展示会事業　第43回ナイスふれあいフェア　岡山扇木材(株)・(有)竜野ハウジング

開催日：平成30年3月8日(木)
・9日(金)
場所：ナイス岡山市場
来客数：約1,000人(2日間)
展示品：桧の一般材・役物約110㎥
販売額：約500万円

中国地域の販売拡大拠点の岡山扇木材で秋・春の2回、土佐材コーナーを設置して頂いています。回を重ねるごとに土佐材の認知度が上がり、順調に売上は伸びてきています。

⑥ 消費地商談会事業　かがわ家博　住宅展示場構造見学会

「かがわ家博」は香川県の19の工務店が共同で開催する住宅販売企画です。昨年8月にサンメッセ香川で開催された消費者向けイベントに土佐材流通促進協議会も参加しました。
その成果があがり、この度18棟の展示会場のうちの2棟は土佐材モデル住宅の建築となりました。構造見学会では高知県の製材メーカーも現地で営業応援を行いました。

場所：香川県高松市多肥上町(新規造成地区)18 棟建築中

開催日：平成30年3月17日(土)・18日(日)

4 号地：建築工房ライズ株式会社の嶺北杉を使った展示場　(株)SUNSHOW 出荷

8 号地：株式会社ビルドの椿原町産材を使った展示場　椿原町森林組合出荷

次回の構造見学会は4月14日(土)・15日(日)に開催します。
完成後の住宅展示は6月30日(土)～12月24日(月)の半年間です。

住宅着工情報

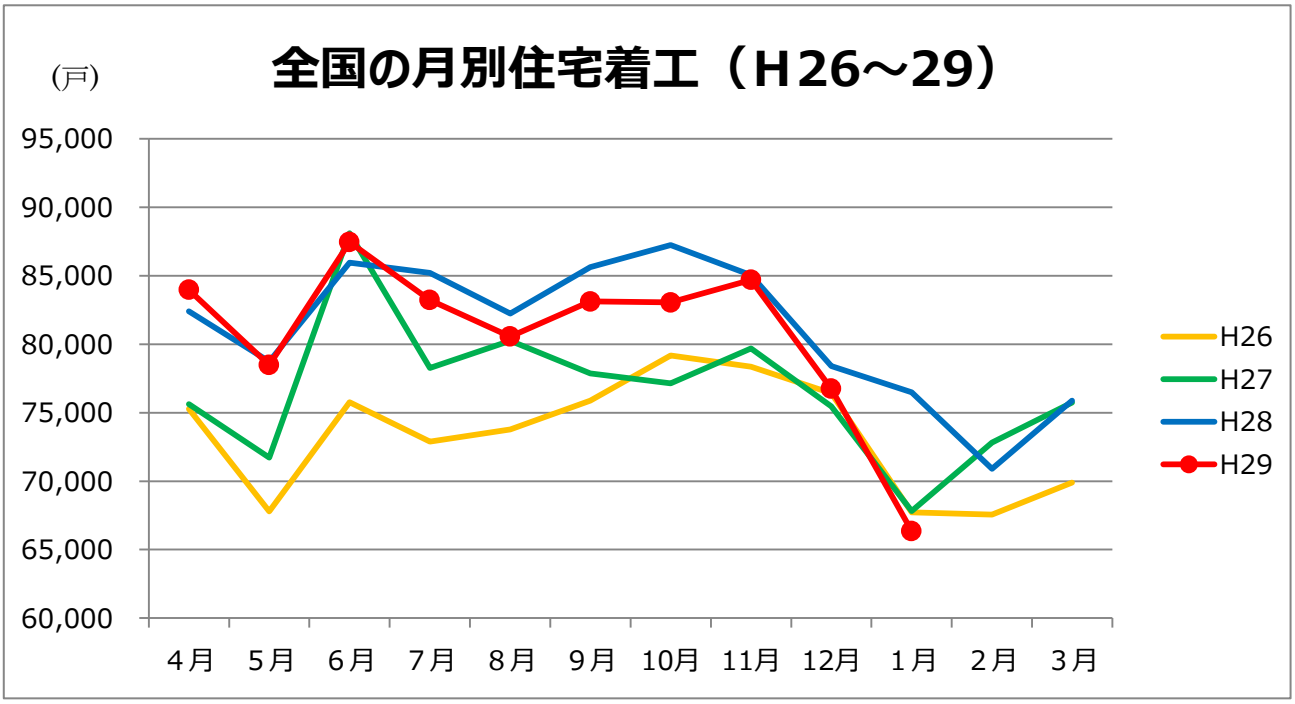
資料(1)全国住宅着工戸数

平成３０年　１月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表　　（単位：戸、%）

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比	戸数	対前年同月比
北海道	1,411	-8.1	522	-0.9	724	-14.9	1	-96.7	164	28.1	0	0.0	164	34.4
青森	280	-20.9	153	23.4	100	-51.9	0	-100.0	27	35.0	0	0.0	27	35.0
岩手	624	37.4	341	36.9	215	34.4	8	700.0	60	36.4	0	0.0	60	36.4
宮城	1,317	-16.3	438	-17.0	489	-33.7	11	-35.3	379	30.7	135	－	228	-21.4
秋田	223	-18.9	112	-11.8	81	-30.8	0	-100.0	30	3.4	0	0.0	30	3.4
山形	358	47.3	139	-3.5	170	146.4	2	100.0	47	62.1	0	0.0	47	62.1
福島	1,028	5.4	411	-9.3	428	5.2	0	-100.0	189	70.3	71	－	118	6.3
茨城	1,369	-5.1	676	6.0	470	-12.5	1	-50.0	222	-16.2	0	-100.0	222	1.8
栃木	1,013	-32.6	462	-11.2	357	-34.0	2	-98.2	192	-41.8	0	-100.0	192	-9.4
群馬	1,104	4.8	504	7.9	359	-8.7	3	－	238	23.3	0	0.0	238	23.3
埼玉	4,363	-5.5	1,105	-2.0	1,977	14.7	82	1,950.0	1,199	-32.0	33	-93.3	1,166	-8.4
千葉	3,984	-13.2	1,047	6.7	1,552	-20.8	44	388.9	1,341	-18.2	382	-43.0	949	-2.1
東京	10,527	-30.5	1,167	-0.8	5,557	-14.5	44	300.0	3,759	-49.7	2,328	-60.8	1,372	-10.3
神奈川	5,427	-26.1	1,163	-1.4	2,413	-13.9	10	-41.2	1,841	-44.9	479	-74.1	1,313	-7.9
新潟	492	-26.1	207	-28.9	229	-11.6	0	-100.0	56	-49.1	0	0.0	56	-39.8
富山	453	6.1	217	57.2	180	-28.9	1	-50.0	55	61.8	0	0.0	55	61.8
石川	480	-23.2	204	-18.4	189	-22.5	1	0.0	86	-33.8	0	-100.0	71	22.4
福井	220	-18.2	125	-1.6	63	-43.2	0	0.0	32	3.2	0	0.0	32	3.2
山梨	517	31.9	304	27.2	170	37.1	3	－	40	37.9	0	0.0	40	37.9
長野	807	5.8	400	-6.1	334	65.3	1	0.0	72	-46.3	0	-100.0	72	-26.5
岐阜	737	-14.1	402	-9.7	207	-7.2	2	100.0	126	-33.3	0	-100.0	126	-18.2
静岡	2,369	44.0	1,022	21.2	670	34.5	9	28.6	668	124.9	322	225.3	346	74.7
愛知	4,519	3.8	1,501	0.0	1,840	5.4	1	-96.2	1,177	8.8	221	10.0	946	7.4
三重	729	-17.4	392	-6.2	261	-15.3	2	-95.9	74	-31.5	0	-100.0	74	8.8
滋賀	678	-1.2	303	3.8	278	-0.4	1	－	96	-16.5	0	0.0	96	-16.5
京都	864	3.3	275	-5.5	286	11.7	1	0.0	302	4.9	117	72.1	185	-14.7
大阪	4,661	-18.5	857	-1.2	2,000	-30.3	81	44.6	1,723	-10.6	1,044	-9.3	670	-13.8
兵庫	2,052	-37.8	628	-26.8	854	-23.7	1	0.0	569	-56.9	180	-78.5	387	-18.4
奈良	534	4.9	195	2.1	211	66.1	0	0.0	128	-33.0	0	-100.0	128	11.3
和歌山	407	13.1	247	30.7	89	-32.6	1	0.0	70	84.2	0	0.0	66	73.7
鳥取	267	115.3	100	33.3	158	251.1	0	0.0	9	125.0	0	0.0	9	125.0
島根	153	-29.5	110	10.0	36	-67.0	0	-100.0	7	16.7	0	0.0	7	16.7
岡山	1,206	27.6	414	0.7	637	55.0	3	-78.6	152	39.4	68	88.9	84	15.1
広島	1,241	-3.3	395	0.3	404	-32.4	1	－	441	51.5	181	129.1	260	22.6
山口	574	10.8	299	13.7	210	25.7	1	-50.0	64	-25.6	0	-100.0	64	82.9
徳島	327	16.0	168	9.8	125	12.6	14	－	20	11.1	0	0.0	20	11.1
香川	432	-30.4	208	-25.2	75	-65.0	0	-100.0	149	19.2	117	33.0	32	-13.5
愛媛	473	-15.2	260	-9.1	175	-20.1	0	-100.0	38	-11.6	0	0.0	38	-11.6
高知	232	40.6	106	-5.4	106	430.0	0	0.0	20	-39.4	0	0.0	20	-39.4
福岡	2,884	-9.9	697	-7.6	1,498	-10.6	36	-41.9	653	-8.2	332	-26.9	321	24.9
佐賀	397	-7.0	152	-9.0	182	-21.6	1	0.0	62	129.6	28	－	34	25.9
長崎	508	-24.1	248	5.1	205	-32.6	1	-92.9	54	-53.0	36	-58.1	18	-37.9
熊本	1,104	-4.9	605	23.0	382	4.7	14	55.6	103	-65.1	0	-100.0	103	90.7
大分	584	9.0	195	-4.4	202	-27.6	1	-96.2	186	588.9	134	－	52	92.6
宮崎	470	13.8	208	10.1	182	5.2	2	-60.0	78	69.6	34	－	44	-4.3
鹿児島	712	-5.6	350	6.7	150	-46.8	12	500.0	200	40.8	104	67.7	90	12.5
沖縄	1,247	2.6	223	24.6	771	6.3	3	50.0	250	-19.1	179	-33.9	71	86.8
合　計	66,358	-13.2	20,257	0.1	28,251	-10.8	402	-22.4	17,448	-27.5	6,525	-50.2	10,743	-1.1
北海道	1,411	-8.1	522	-0.9	724	-14.9	1	-96.7	164	28.1	0	－	164	34.4
東北	3,830	-1.1	1,594	-1.9	1,483	-12.7	21	-22.2	732	40.0	206	－	510	-2.5
関東	29,111	-21.0	6,828	1.1	13,189	-10.8	190	21.0	8,904	-41.3	3,222	-64.8	5,564	-6.4
北陸	1,645	-17.2	753	-6.6	661	-23.8	2	-77.8	229	-24.9	0	-100.0	214	-0.9
中部	8,354	7.9	3,317	3.4	2,978	7.3	14	-83.1	2,045	22.0	543	44.8	1,492	14.7
近畿	9,196	-19.4	2,505	-6.8	3,718	-22.3	85	44.1	2,888	-25.5	1,341	-37.2	1,532	-11.8
中国	3,441	11.5	1,318	6.0	1,445	8.6	5	-72.2	673	35.7	249	50.0	424	28.5
四国	1,464	-10.0	742	-10.5	481	-14.7	14	0.0	227	3.7	117	33.0	110	-16.0
九州	6,659	-7.0	2,455	3.6	2,801	-15.4	67	-43.7	1,336	-2.0	668	-20.8	662	27.3
沖縄	1,247	2.6	223	24.6	771	6.3	3	50.0	250	-19.1	179	-33.9	71	86.8
首都圏	24,301	-23.3	4,482	0.4	11,499	-11.4	180	339.0	8,140	-42.7	3,222	-64.0	4,800	-7.6
中部圏	8,354	7.9	3,317	3.4	2,978	7.3	14	-83.1	2,045	22.0	543	44.8	1,492	14.7
近畿圏	9,196	-19.4	2,505	-6.8	3,718	-22.3	85	44.1	2,888	-25.5	1,341	-37.2	1,532	-11.8
その他地域	24,507	-4.4	9,953	0.9	10,056	-9.8	123	-63.3	4,375	1.9	1,419	-13.3	2,919	11.0

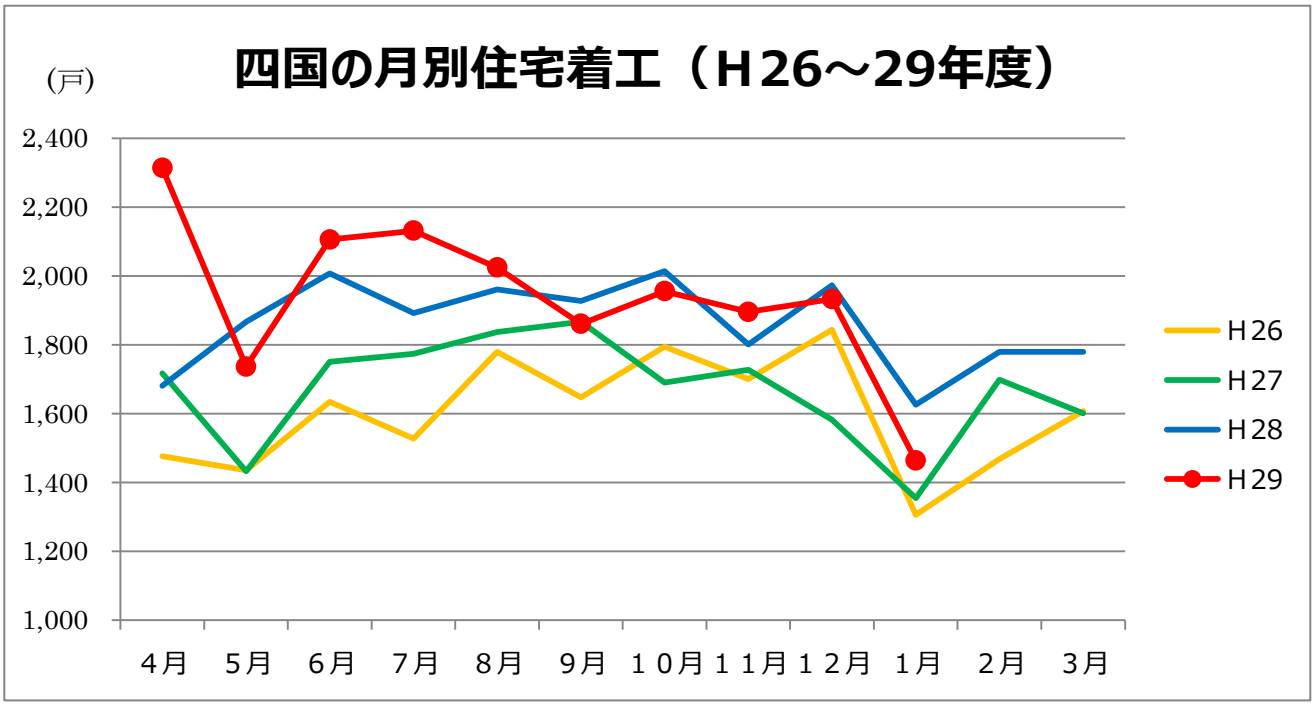
政府統計資料による

資料（2）全国の月別新設住宅着工戸数(26～29 年度)　　平成 30 年 1 月まで

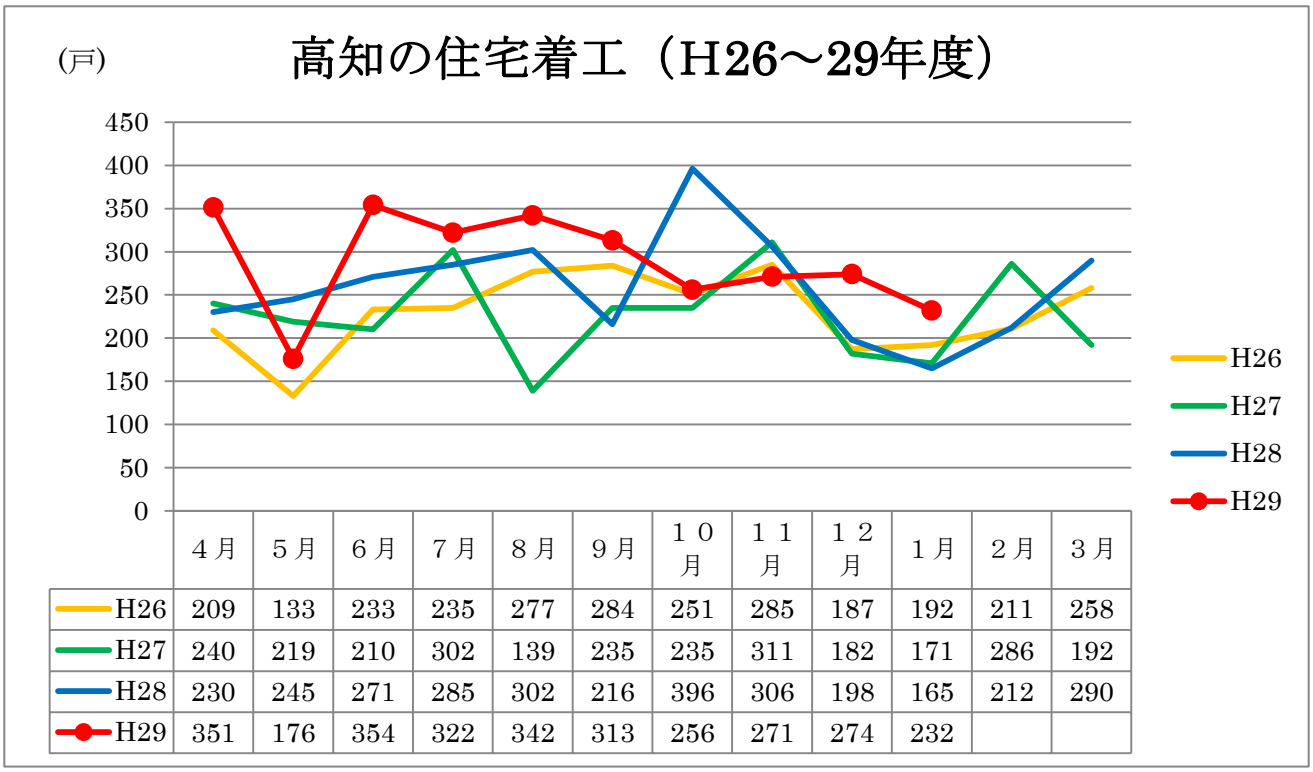


平成 30 年 1 月の全国の新設住宅着工数は 66,358 戸で前年同月より 13.2%減と 7 ヶ月連続でやや減少した。持ち家（注文住宅）は、前年同月比では 0.1%増の 20,257 戸とほぼ横ばい。貸家は、前年同月比 10.8%減の 28,251 戸と減少した。分譲住宅は、一戸建てが同 1.1%減の 10,743 戸と微減、マンションは同 50.2%減の 6,525 戸とマンションが大幅減となった。今後は陰りの見えてきた賃貸物件がどの水準で推移するかに注視が必要だ。全体的に見れば今後しばらくはオリンピック関係の工事や、海外観光客の増加にともなうホテルの建設ラッシュなどがあり、労働力や資材・輸送が不足するなかで、消費税増税を見越しての建築需要にどう対応していくかが課題となってくる。

資料(3)　四国の月別新設住宅着工戸数(平成 26 年度～29 年度)　　平成 30 年 1 月まで



資料(4)　高知県の月別新設住宅着工戸数　(平成 26 年 4 月～30 年 1 月まで)

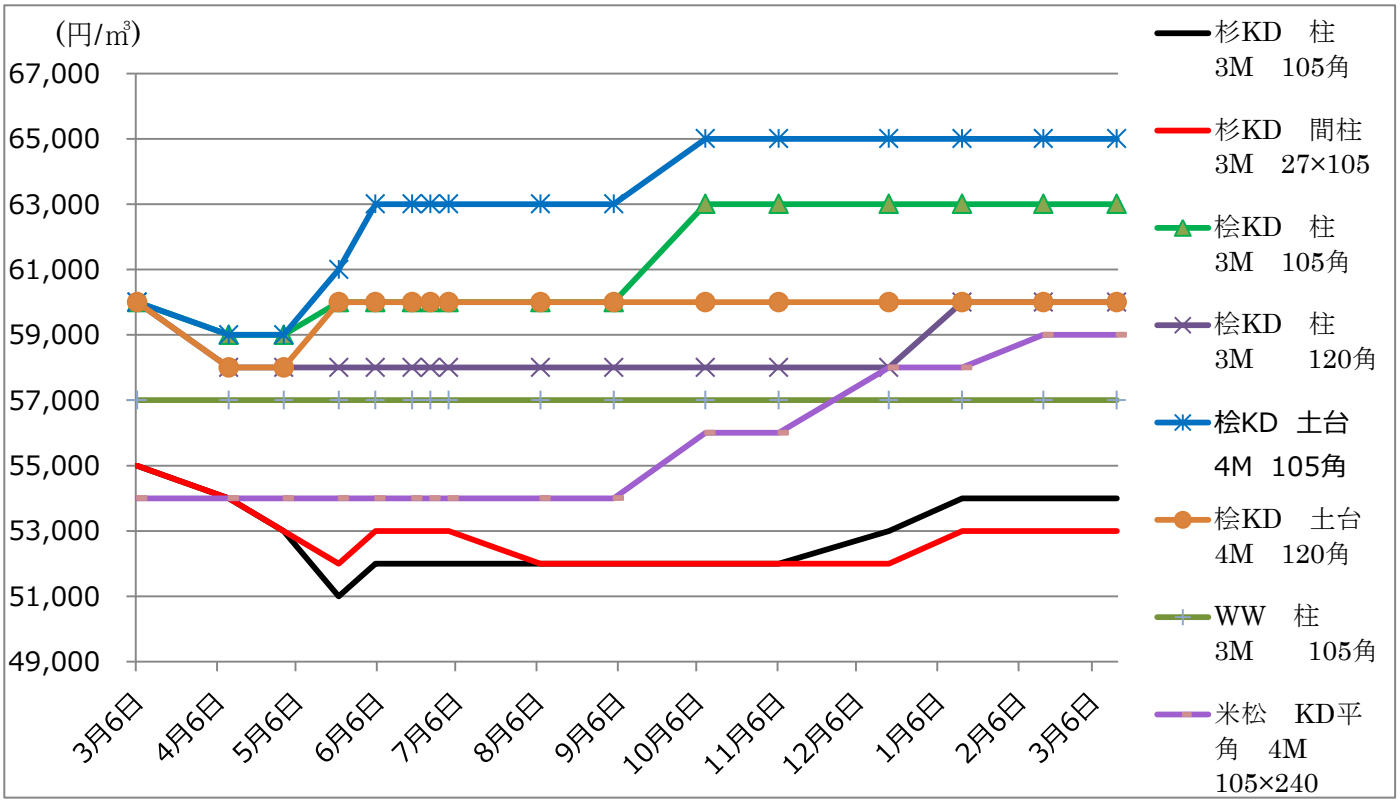


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H26	209	133	233	235	277	284	251	285	187	192	211	258
H27	240	219	210	302	139	235	235	311	182	171	286	192
H28	230	245	271	285	302	216	396	306	198	165	212	290
H29	351	176	354	322	342	313	256	271	274	232		

高知県の平成 30 年 1 月の住宅着工数は、前年度比 40.6%増の 232 戸となり、2 か月連続で大幅に増加した。持ち家は、前年同月比 5.4%減の 106 戸と減少した。貸家は時期調整もあるが 430%増の 106 戸と大幅増加した。分譲は同 39.4%減の 20 戸で、マンションが無く、分譲住宅は 39.4%減の 20 戸だった。県内の新設着工住宅は、29 年度は全体的に好調を維持しているが、貸家と分譲マンションが全体を押し上げている。今後のしばらくは横ばい～やや減少で推移する見込みである。

木材価格情報

資料(5)　製品市況　関東市売り場(29 年 3 月～30 年 3 月 15 日まで)　木材ウイークリー参照



備考：同価格のものはグラフが重なって見えるものもあります。

平成 30 年 3 月の国産材製品市況は、プレカット工場等が年明けより稼働率が低下している中で、国産材は桧土台や杉・桧柱角をメインにして一時期の品不足が解消されつつあり、一般構造材は保合で推移している。羽柄材、小割材なども同じく保合で推移している。

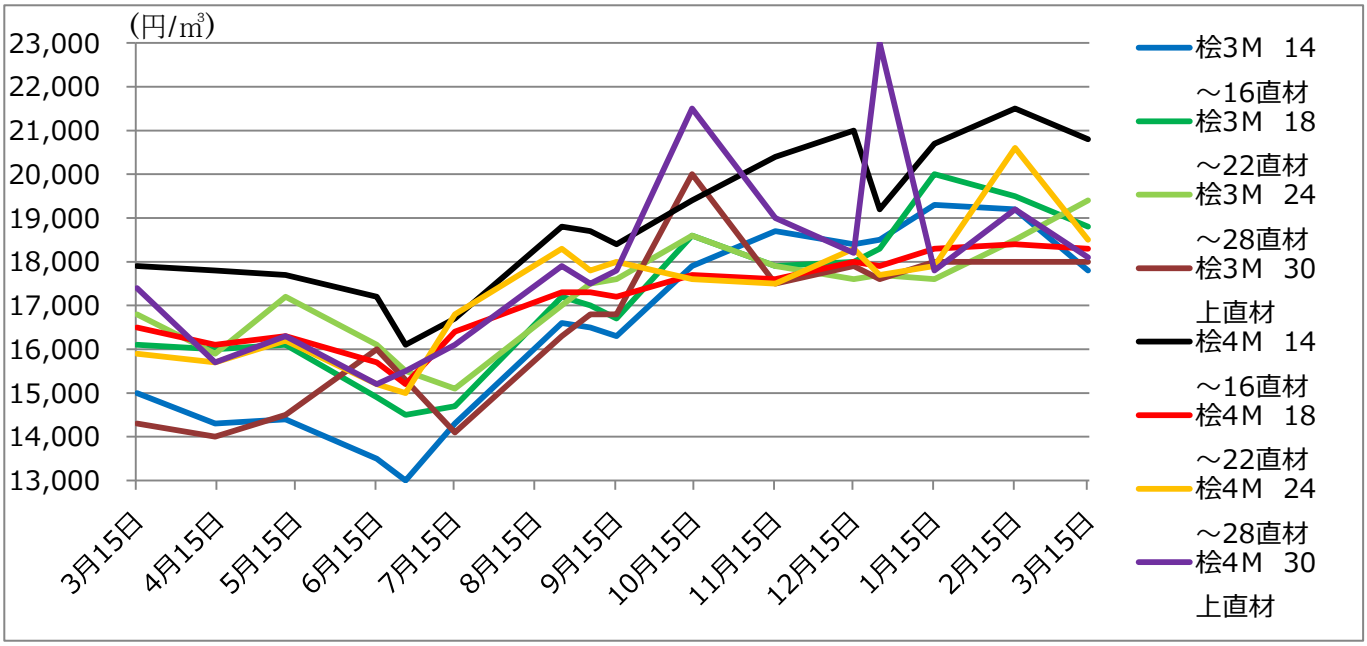
輸入材や集成材等は現地のラミナ高などの影響もあって強保合で推移しており、米松 KD や RW は製品値上げが続いている。

役物は昨年同様に引き合いが少なく弱保合で推移している。

現在、各消費地では地元の消費が好調で九州から他地方への製品出荷が相変わらず少ない中、市場・問屋などの需要が少ないことからバランスがとれているものの、それぞれ製品の確保に力を入れているところである。

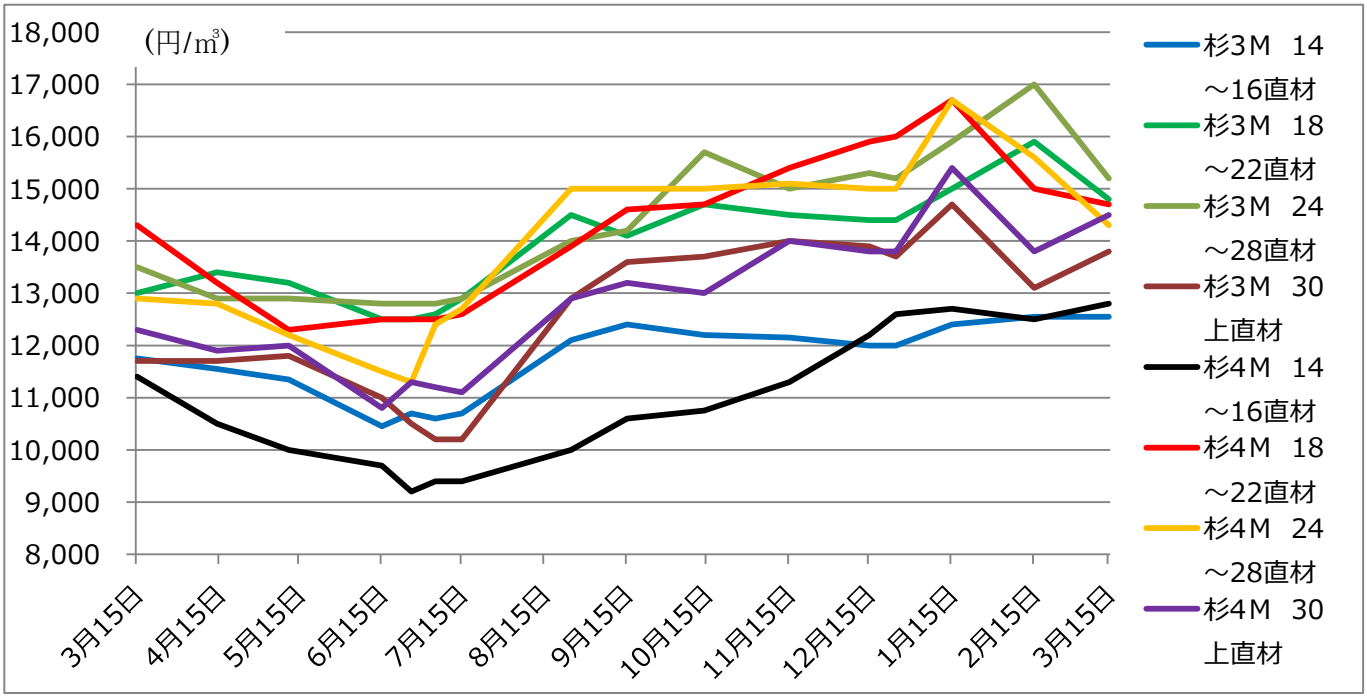
写真はナイス岡山市場(3/8)　(有)竜野ハウジングの土佐材展示コーナー

資料(6)　平成 29 年～30 年丸太市況　桧 3～4m（久万広域森林組合分）平成 30 年 3 月 15 日迄



平成 30 年 3 月の桧及び杉の丸太価格は、一般材を中心に製品の荷動きが好調な中で年明けからはほぼ全面高で推移していたが、3 月に入り暖かくなり出材が増加し始めてからは、高値から少し下げに戻している。製品需要は土台・柱角を中心として構造材や筋交いなどの羽柄材・小割材などの荷動きも引き続き好調で、各市場・問屋とも特にＫＤ材の製品在庫が少ないため、しばらくはこのまま～若干の下げでの推移の様相である。合板用丸太やラミナ用、梱包用材、チップ・バイオマス用材等の低質材はサイプレス・スナダヤの稼働により、年明けより一段高で推移している。また役物は全般的に一部商品を除いて弱保合で推移しているが、丸太不足により保合～強保合で推移しているものもある。今後は出材の増加が待たれる。

資料(7)　平成 29 年～30 年丸太市況　杉 3～4 m（久万広域森林組合分）平成 30 年 3 月 15 日迄



3 月の商況

平成 30 年 3 月の商況は、年末～年始にかけての雪の影響や、職人不足などにより工事の遅れなどがありプレカット工場の稼働が全国的に低めの水準で稼働している。また、輸入材の値上げが続いていることなどから、国産材製品相場は桧ＫＤ構造材を中心に引き合いが多く、保合で推移している。しかしながら杉一般材は弱保合で推移している。役物需要は全体的には低調な推移になっており、全国的に弱保合が続いている。また、米松やＲウッド集成平角は現地丸太高などにより現在も値上げ基調で推移しており、Ｗウッド集成管柱は保合、構造用合板は強保合で推移している。今後は新年度からの需要がどれくらいあるかが注視されるところである。

(1)　丸太相場

３月の四国の国産材丸太相場は、雪の影響での出材減が解消しつつある中で、製品需要も一部を除いて保合で推移しており、それに合わせて丸太価格も保合で推移している。また合板用やラミナ用、梱包用、チップ用やバイオマス用の低質材は、サイプレス・スナダヤの稼働や、愛媛のバイオマス発電も始まり、こちらも全体的に強保合で推移しており、一般材と低質材の価格差が少なくなってきている。選木は製品の荷動きは弱保合だが、丸太減で保合～強保合で推移している。今後も製品需要は横ばいでとなる見込みで、出材量次第だが保合で推移する見込みである。

久万広域森林組合　3月15日相場表

		杉		桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8～11	347	347	375	375
	12	10,200		13,000	
	13		10,200		13,000
	14	10,800	8,900	15,000	14,100
	16	14,300	12,900	20,600	18,700
	18～22	14,800	12,800	18,800	17,300
	24上	15,200	12,800	19,400	17,100
	30上	13,800	12,700	18,000	15,300
4.00	8～11	409	409	491	491
	12	11,000		15,200	
	13		10,000		13,800
	14～16	12,800	11,000	20,800	17,800
	18～22	14,700	13,600	18,300	17,400
	24上	14,300	13,700	18,500	16,700
	30上	14,500	13,800	18,100	16,500
6.00	18上	17,800	16,600	28,600	24,300

(注)　3桁は本売り、それ以外は㎥あたり

(2) 国産材製品相場

3 月の国産材製品は、全国的にプレカット工場の稼働が鈍化してきており、製品桧 KD 土台角や桧・杉 KD 柱角等の構造材は一部製品を除いて品不足は解消しつつあり保合、桧・杉筋交い・間柱等の羽柄材、小割材も保合で推移している。引き続き輸入材の全面高が続いており、国産構造材への代替えも出始めているのである程度の需要は見込める様相。役物は全体的に低調で、一部注文材等で引き合いがあるものの役柱や敷居・鴨居材等は保合～弱保合で推移していて、役物工場は価格・販売面で苦戦している。

首都圏市場の木材標準相場表　　(単位円/㎥)

品目	樹種	寸　法	等級	2月	3月
柱角	杉（KD)	3M　105mm角	特　等	54,000	54,000
間柱	杉（KD)	3M　30×105mm	特　等	53,000	53,000
柱角	桧（KD)	3M　105mm角	特　等	63,000	63,000
柱角	桧（KD)	3M　120mm角	特　等	60,000	60,000
土台角	桧（KD)	4M　105mm角	特　等	65,000	65,000
土台角	桧（KD)	4M　120mm角	特　等	60,000	60,000

(3)　米材

3 月の国内挽き米松製品は、カナダからの供給の減少や米国内需要が相変わらず好調で現地の丸太需要が活発なことに加えて中国向けの丸太輸出も堅調なことで需給が旺盛で、産地価格が急騰していて、全面高となっている。このため、大手国内製材挽きの製品は 3 月に入って KD 小割材を 2,000 円、グリン材で 1,000 円の値上げをした。KD 平角は競合する RW の動向を見据えて据え置きとなった。今後もしばらく丸太は続伸気配で強保合で推移する見込み。輸入製品も同じく強保合で推移している。色物は全体的に品不足で強保合、米ツガも米松同様強保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)　　(単位円/㎥)

	樹種	寸　法	等 級	2月	3月
平角	米松KD	4M　105×270mm	特　等	59,000	59,000
平角	米松グリン	4M　105×270mm	特　等	48,000	48,000
角材	米松KD	4M　105mm角	特　等	61,000	62,000
角材	米松KD	4M　90mm角	特　等	61,000	62,000
タルキ	米松KD	4M　45×　45mm	特　等	61,000	63,000
筋交い	米松グリン	4M　45×105mm	特　等	49,000	49,000
注入土台角	米ツガ	4M　105mm角	特　等	56,000	58,000

首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)　　(単位円/㎥)

角材	米松KD	4M　105mm角	特　等	57,000	59,000
平割	米松KD	3M　45×90mm	特　等	58,000	59,000
タルキ	米松KD	4M　45×45mm	特　等	62,000	64,000

(4)　欧州材・ロシア材

3 月の欧州材は、プレカット受注が減速し、構造用集成材の荷動きが鈍ったことに加え、年明け以降の円高の影響によりおおむね横ばいで推移しているが、現地価格は中国・アメリカ向けが好調な事などの要因で上昇しておりコスト高が続いている。R ウッド集成平角は値上げをしたことにより多少在庫があるが、W ウッド集成管柱は杉集成管柱の価格が相場の重しになっていることや荷動きも弱いことから据え置きとなっており、メーカーには厳しい状況が続いている。ロシア材も現地価格が値上げ基調で輸入製品が減少しているなか、ホームセンター向けの製品出荷が好調だが相場を押し上げるほどの力は無く、価格は保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表　　(単位円/㎥)

	樹種	寸法	等 級	2月	3月
集成平角（国産）	Rｳｯﾄﾞ	4M 105×240mm	特 等	63,000	63,000
集成管柱（国産）	Wｳｯﾄﾞ	3M 105mm角	特 等	1,890	1,890
間柱（欧州産）	Wｳｯﾄﾞ（KD）	3M 27 ×105mm	特 等	50,000	50,000
集成平角（欧州産）	Rｳｯﾄﾞ	4M 105×240mm	特 等	63,000	63,000
集成管柱（欧州産）	Wｳｯﾄﾞ	3M 105mm角	特 等	57,000	57,000
ﾗﾐﾅ	Wｳｯﾄﾞ	乱尺		39,000	39,000
ﾗﾐﾅ	Rｳｯﾄﾞ	乱尺		42,000	42,000
ﾛｼｱﾀﾙｷ	ｱｶ松KD	3.8M 35×35mm	特 等	62,000	62,000
ﾛｼｱ胴縁	ｱｶ松KD	3.8M 16×40mm	特 等	70,000	70,000

(5)　ＮＺ・チリ材

3 月の NZ・チリ材は、中国・韓国の引き合いが強く現地丸太価格の高値が続いている。製品は、チリ輸入製品が 3 月より値上げを打ち出している。NZ ラジアタ松の国内挽きの製品は年明けに値上げを行い、2 月には北陸方面の雪などで配送の遅れが出たが輸出関連の引き合いは強く、各製材メーカーも年度末の需要増に期待している。また杉製品については、今回の NZ 材の値上げで価格差が広がったことで、杉の割合が徐々に増加していく傾向だ。

梱包関連標準相場表　　(単位円/㎥)

	樹種	寸　法	等 級	2月	3月
割板	ﾗｼﾞｱﾀ松	4M 15×240mm	特 等	42,000	42,000
割角	ﾗｼﾞｱﾀ松	4M 27× 85mm	特 等	40,000	40,000

(6)　針葉樹合板

3 月の国産針葉樹合板は 2 月にはいってからの一服感がでているが、木建ルートを中心としての納期遅れの解消までには至っていない。また各合板メーカーは、原木価格が高止まりしていることや、接着剤など原材料価格の上昇を背景に製品値上げを唱えていて、今後は納期遅れの解消とともに値上げを浸透させていく方針の様相である。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表　(大阪地区)　　(単位円/枚)

	樹種	寸法	2月	3月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	1,030	1,050
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,360	1,400
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,950	2,000
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	2,270	2,310

(7)　プレカット

全国の 3 月のプレカット会社の受注状況は、工期遅れや雪の影響などにより 1～2 月にかけて低調に推移してきたが 3 月に入って中規模クラスの非住宅物件が微増しているなど受注は回復基調にある。大手ビルダー・ハウスメーカーの受注は堅調だが、集合住宅の勢いは確実に衰えている。また、資材はＲウッド集成平角や、米松関係の製品などの輸入材が高値張り付きで、この状態が続けば他樹種への代替えが加速する可能性がある。国産の桧ＫＤ土台や杉ＫＤ管柱は一時の製品不足は解消気味で保合で推移している。また、合板も値上げ基調でプレカット工場の収益を圧迫していて、価格転嫁が今後の課題となってきそうだ。

3月のプレカット稼働調査（全国平均表）　　(単位：%)

	2月（実績）	前年比	3月（受注）	前年比	4月（見込）	前年比
北海道	110.0	132.5	96.0	113.0	95.0	95.0
東 北	65.0	110.0	75.0	115.0	80.0	110.0
関 東	89.1	93.1	92.5	96.6	95.7	100.1
中 部	87.7	100.7	99.0	96.3	101.7	90.0
関 西	88.2	114.7	97.6	103.3	97.3	105.7
中 国	80.0	90.0	97.5	98.5	75.0	110.0
四 国	90.0	95.5	102.5	103.5	102.5	100.0
九 州	98.0	107.0	105.0	96.0	—	—
全国平均	88.5	105.4	96.1	102.8	92.5	101.5

日刊木材新聞・木材建材ウークリー他参照

トピックス

(株)サイプレス・スナダヤ新工場稼働

国内最大級の大型製材･集成材工場である(株)サイプレス･スナダヤの新工場が 3 月 16 日に落成し、本格稼働を始めた。

現状では 1 日の丸太投入量が 500 ㎥（約月 11,000 ㎥）で、桧ムク KD 土台を月 1,000 ㎥、集成土台・柱を 2,500 ㎥生産する。また、桧だけでは丸太の集荷が難しいため、杉を月 3,000 ㎥投入し製品はアメリカ向けフェンス材で月に 20～25 コンテナの製造をしていくとの事。また、製材工場の稼働は 7 人・丸太土場の担当が 8 人と少人数で生産効率を高めている。集成材工場の隣には CLT 工場も新設し、自社でラミナから製造までを一貫生産できるので、今後は他社とのコスト競争もできるとの話だった。

今後の課題としてはやはり丸太の供給で、現在でも不足している桧丸太が一段と深刻になる可能性が大きい。昨年末から価格も上昇しており、早急な対応が必要となってくる。

CLT 工場

製材工場

集成材工場

ラミナ置き場

非住宅建築物木造化促進事業第２回検討会

開催日：平成 30 年 3 月 14 日(水)
場所：高知県立森林技術センター
参加者：10 人

平成 29 年度高知県非住宅建築物木造化促進事業の第 2 回検討会を行いました。今回はオブザーバーの蒲池氏・鈴木氏も関東から招き、今年度の事業の壁ラーメン工法・重ね透かし梁工法の改良版の試験について報告があり、それについての検討も行いました。

また、次年度の県の事業計画の説明もありました。

人口減により、将来必ずおこる木造住宅の建築数減少を非住宅建築でカバーしていけるような研究がこれからも重要な課題となります。

重ね透かし梁の試験

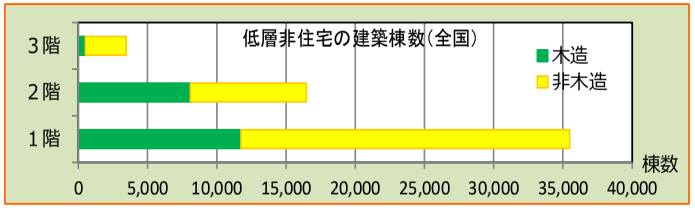
ジラーフユニット

木製日除けルーバー

非住宅建築物木造化促進事業　　H30予算額　14,650千円（H29　19,800千円）

●現　状

・低層非住宅の木造率は低位



（参考）・住宅の木造率　82.3%　・　非住宅の木造率　36.4%

●取組方針

・住宅着工の減少する中、木材需要の拡大には、**これまで木材があまり使われてこなかった低層非住宅の木造化を推進**する必要がある。

開発支援

●これまでの取組状況

【H25・27】シングルウッドパネル（SWP）の開発を支援
（内容）　杉幅はぎパネルを活用した耐力壁（大臣認定取得）

【H28】一般流通材を活用した非住宅用木質建材の開発を支援
①重ね透かし梁：長スパンに対応
②A型トラス：屋根に対応
③木質ラーメン：壁が少ない箇所に対応
（内容）一般流通材を活用した新製品による対応

木質ラーメン

【H29】①新製品を使ったモデル建築物への支援
②新製品の改良
③内装材等の開発

SWP仕様のモデル建築物

●見えてきた課題

・施工実績のない新製品の販売を促進するためには、モデル施設の整備による実績づくりが必要　⇒SWPについては独自で販路の拡大へ進む
・SWP以外の3製品については、まだ、普及に向けた支援が必要。モデル建築による実証、普及
・一般の設計士への普及のため、施工マニュアルの作成及び、建築確認申請がしやすいように、日本建築学会「接合部設計マニュアル」への記載が必要。
・H29に開発した新製品（内装材等）の改良、ブラッシュアップが必要。また、木工連による新たな木製品の開発により、非住宅用の木製品アイテムの開発が必要。

【非住宅建築物の木造化等の推進に向けて】

非住宅建築物木造化促進事業　14,650千円

①モデル施設整備

・新製品を活用したモデル施設整
→新製品の活用促進（実績づくり）
（重ね透かし梁、A型トラス、木質ラーメン）

②新製品の改良・普及

・モデル建築物を活用した施工調査の実施
→コスト（材料・人件費）の把握
・調査結果を活かした製品の改良
・施工マニュアル・普及啓発冊子の作成

③新たな内装材等の改良・開発

・H29年に開発した新製品の改良・試験
・木工連と県外事業体の協働による、木製品の開発

事業主体：①　建築主体
②③高知県林業活性化推進協議会
③　高知県木製品工業連合協働組合
補 助 率：①　木工事の4/10以内
②③ 定額

期待される効果

・モデル施設を通じた新製品の認知度向上
・新製品の改良によるコストダウン、施工性の向上
・普及冊子を活用した新製品の浸透
・木質建材のバリエーションが拡大

非住宅建築物用製品のアイテムの充実

低層非住宅建築物の木造化の促進

新規 木育推進事業　【H30予算】4,000千円　(森林環境税)

1．趣　旨

出生・育児という自然や環境への意識が変わることが期待される時期を捉え、保護者と乳幼児が日ごろから家庭で木に触れ木に親しむことができる機会をつくり、木の良さを五感で理解してもらうために、乳幼児が木製の玩具や食器など木のぬくもりに触れあい親しむ「木づかい」の取り組みを支援し、その体験を通して、森林の保全や木の文化への理解を深める。

2．事業内容

市町村等が実施する、乳幼児に木製の玩具等を贈る事業について支援する。

3．補助対象及び補助率等

県産材を使用して作成した※玩具や食器等の購入経費

１／２以内

乳幼児（0～3歳児）１人あたり５千円以内

※
県内で伐採された木材を使用し、原則県内で加工された製品とする

4．事業主体

市町村、広域事務組合　等

事業のねらい

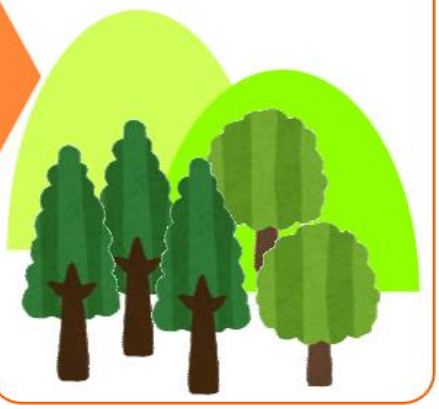
乳幼児

木材の良さを体感することにより、木に対する親しみが生まれる

保護者

木に親しみを持つことにより、木を暮らしに取り入れる意識が高まり、木造住宅や木製品の需要拡大に繋がる

木への親しみを持つことをきっかけとして、木材と森林との関わりへの関心が高まり、木材利用を通じた森林・環境保全について正しく理解することができるようになる



＜具体的な取組事例＞

・３ヶ月検診の乳児を対象に、県産の木材で作成された積み木をプレゼント

・新生児の届出者全員に木製の食器を贈呈　など

用語の説明

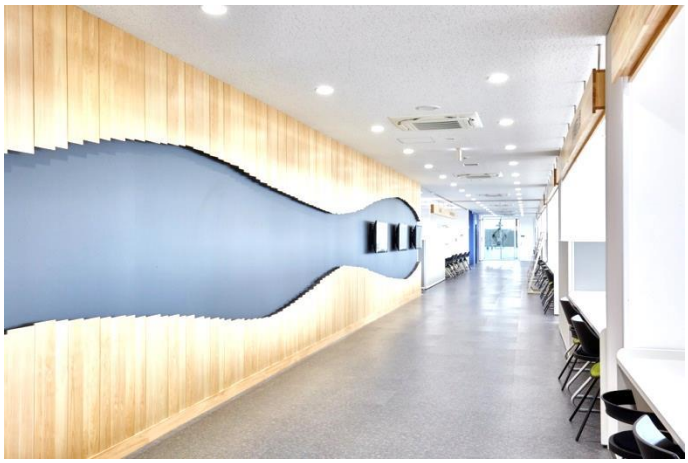
「木育」：材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動の呼称(林野庁「森林・林業基本計画」)

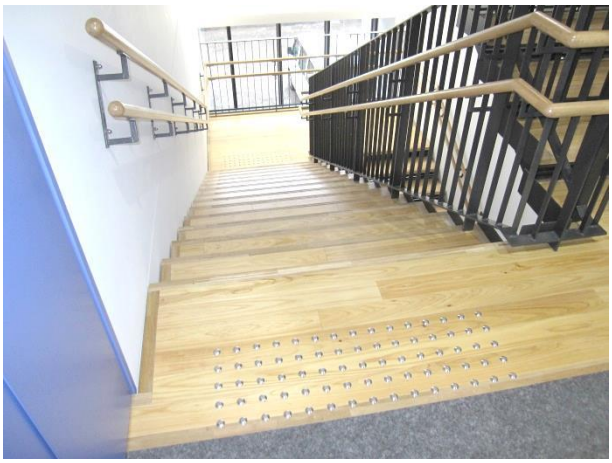
「木づかい」：毎日の生活に国産材を使った製品を取り入れることによるエコ活動(林野庁「木づかいブック」)

黒潮町役場の新庁舎

木材協会の賛助会員になって戴いています黒潮町が平成 30 年 1 月 9 日（火）に新庁舎(3 階建て鉄骨造)を開庁しました。内装に黒潮町産の木材をふんだんに使った綺麗な庁舎内をご覧ください。

（写真は黒潮町役場の方からの提供によります。）





(株)ヴェルデ　まもなく本稼働へ

ここ 7 年間で高知県内に製材工場が新設されるのは「高知おおとよ製材(株)」に次いで 2 例目となりました。仁淀川町の「(株) ヴェルデ」という会社がまもなく本稼働を迎えます。
会社の設立は平成 28 年の 11 月、生産開始は平成 29 年の 6 月からですが、徐々に態勢を整えて新工場が今年 1 月に完成しました。

場所：仁淀川町土居甲
代表取締役社長：刈谷　昭信　氏(池川林材(株)兼)
従業員：12 人(現在増員募集中)
原木調達割合：杉 7 割、桧 3 割
高知県産材の地産外商活動の一翼を担う会社としての活躍が期待されます。

いい空間　木の喫茶店　（シリーズ第３回）

「茶農家の店あすなろ」仁淀川町にあたらしいカフェが３月 17 日にオープンしました。
場所は国道 33 号線を西へ、引地橋よりさらに西へ、ほぼ県境の一歩手前、大渡ダム湖を見下ろす位置にあります。仁淀川町産材をふんだんに使い地元の沢渡茶をおいしくいただけるお店です。

ウッドデッキの向こう側は美しいダム湖の風景

中央のテーブルはイータスインザルームの丸卓２台

店長の岸本さん

（皆様の近くに国産材を使ったいい雰囲気の喫茶店をご存知ないでしょうか？あればご紹介ください。）

行事予定　平成 30 年 4 月・5 月

4 月	13 日(金)	ＣＬＴ建築推進協議会幹事会・総会（高知城ホール）
	13 日(金)	(株)HIKARI 金沢どまんなか祭り春（金沢県石川市）
	14 日(土)	(株)山木商行春の展示即売会(岐阜県岐阜市)
	24 日(火)	新名木材市売(株)土佐材展示即売会（愛知県海部郡）
5 月	上旬（予定）	高知県林業活性化推進協議会総会
	上旬（予定）	高知県木材普及推進協会総会
	15 日(火)	土佐材流通促進協議会総会(ちより街テラス)
	18 日(金)	(株)ナゴヤ辻文大口営業所土佐材フェア（愛知県丹羽郡）
	19 日(土)・20 日(日)	(株)山西プロウッドスタイルフェア（愛知県名古屋市）
	30 日(水)	高知県木材協会総会（高知会館）

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす

佐川町ウッドスタート宣言(30/3/3)

一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801　高知市小倉町 2 番 8 号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

http://www.k-kenmoku.com